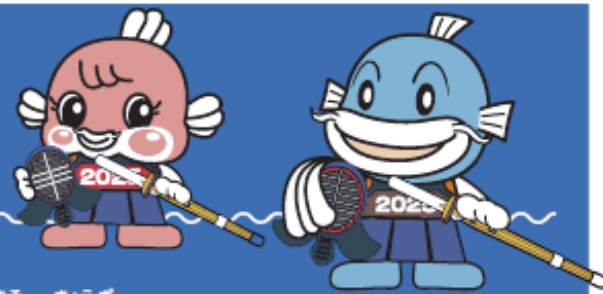


けん どう
剣道

ぼうぐ ちやくよう リ きょうぎ しゃ おいたい
防具を着用した2人の競技者が相対し、
たが しない さだ ぶ い だ とつ しょうはい さそ きょうぎ
互いに竹刀で定められた部位を打突して勝敗を競う競技です。



日程・会場 ● 9月29日(月)～10月1日(水)
湖南省総合体育館

プログラム詳細は
p. 3～ 参照！

一般観覧 (可) 事前予約不要／入場無料／入場整理券なし

インターネット **LIVE配信・見逃し配信** も無料！ (主に決勝戦)

- ・基本的に拍手のみで応援してください。・勝敗がわかりづらい場合は、審判の旗(赤・白)で確認できます。
- ・入場無料 入場整理券無

競技のルールや見どころの詳細は **p. 6～** 参照！

競技紹介

- 国スポでは、団体戦を行います。参加選手は年齢で決められており、成年男子は、先鋒(18歳以上25歳未満)、次鋒(25歳以上35歳未満)、中堅(35歳以上45歳未満)、副将(45歳以上55歳未満)、大将(55歳以上)の5名。成年女子は、先鋒(18歳以上30歳未満)、中堅(30歳以上40歳未満)、大将(40歳以上)の3名。少年男子および少年女子は、18歳未満(中学生以下を除く)の5名となっています。
- 試合は3本勝負で、試合時間内に2本先取した者が勝ちです。試合時間は、成年男女は5分間、少年男女は4分間です。一方が1本先取してそのまま試合時間が終了した場合、先取した者が勝ちとなります。
- 時間内に勝敗が決まらなかった場合は、1本先取の延長戦を行います。
- 打突は一瞬で行われるため、選手には、相手の動きを読み取る洞察力と集中力が必要です。観戦する方も、一瞬たりとも目を離すことができません。



滋賀県選手団

no	競技	種別	種目	役職	氏 名	勤務先・学校名・所属等	学年等	現 住 所
1	剣道	成年男子		監督兼選手	高田 秀晃	滋賀県警察		大 津 市
2	剣道	成年男子		選手	竹本 航洋	東レ株式会社滋賀事業場		大 津 市
3	剣道	成年男子		選手	杉野 翔耶	滋賀県警察		大 津 市
4	剣道	成年男子		選手	堀 正人	東レ株式会社滋賀事業場		大 津 市
5	剣道	成年男子		選手	大城戸 正勝	滋賀県警察		大 津 市
6	剣道	成年女子		監督兼選手	和田 美咲	滋賀県警察		大 津 市
7	剣道	成年女子		選手	八木 優澄	警視庁		東京都府中市
8	剣道	成年女子		選手	前田 早弥香	滋賀県立北大津養護学校	職員	大 津 市
9	剣道	少年男子		監督	栗野 達朗	比叡山高等学校	教員	大 津 市
10	剣道	少年男子		選手	脇本 得成	比叡山高等学校	3年	大 津 市
11	剣道	少年男子		選手	辻本 翔悟	比叡山高等学校	3年	栗 東 市
12	剣道	少年男子		選手	高田 悠生	比叡山高等学校	3年	京都府京都市
13	剣道	少年男子		選手	松本 響	比叡山高等学校	3年	栗 東 市
14	剣道	少年男子		選手	尾田 秀太	滋賀県立草津東高等学校	3年	栗 東 市
15	剣道	少年女子		監督	松本 一記	滋賀県立草津東高等学校	教員	草 津 市
16	剣道	少年女子		選手	増田 星凜	滋賀県立草津東高等学校	3年	彦 根 市
17	剣道	少年女子		選手	宮部 夢来	滋賀県立草津東高等学校	3年	長 浜 市
18	剣道	少年女子		選手	稲村 凜	滋賀県立草津東高等学校	3年	大 津 市
19	剣道	少年女子		選手	椎葉 みのり	滋賀県立草津東高等学校	3年	犬上郡甲良町
20	剣道	少年女子		選手	田中 夢真	滋賀県立草津東高等学校	2年	愛知郡愛荘町

見どころ

● <滋賀県選手団>

少年男子の部は、地元の強豪・**比叡山高校**の剣道部員たちが出場。少年女子は同じく強豪の**草津東高校**。普段はライバル同士の両校が今回はチームとして活躍します！

● <インターハイ好成績>

強豪の福岡県からは、夏のインターハイ個人戦で優勝＆準優勝のコンビ、**森大颯**選手 & **林晃毅**選手が出場！インターハイと並ぶ高校剣道の三大大会「玉竜旗」では優勝もしています。

● <親子出場>

奈良県からは、**伊藤凜太郎**選手（先鋒）と父・**伊藤康裕**選手（大将）が親子出場！

滋賀県広報課の注目ポイント

● 審判に「一本」と判定された技は、その場における「**気配**」「**気合**」「**気迫**」の充実、そして相手の隙を的確に捉えた結果です。

竹刀が交錯する音やすり足に耳を済ませたり、面を打突する際の力強い気合の音を、ぜひ会場で楽しみましょう！



[27] 剣道競技

湖 南 市

競技日程

9月29日（月）

会場：湖南省総合体育館

開 始 式	9:00 ～ 9:15
-------	-------------

第1試合場			第2試合場		
少年女子	1回戦	4試合 9:35 ～ 11:15	少年女子	1回戦	4試合 9:35 ～ 11:15
少年女子	2回戦	2試合 11:15 ～ 12:05	少年女子	2回戦	2試合 11:15 ～ 12:05
少年男子	1回戦	4試合 12:05 ～ 13:45	少年男子	1回戦	4試合 12:05 ～ 13:45
少年男子	2回戦	2試合 13:45 ～ 14:35	少年男子	2回戦	2試合 13:45 ～ 14:35
少年男女	準決勝戦	2試合 14:35 ～ 15:25	少年男女	準決勝戦	2試合 14:35 ～ 15:25
少年男女	決勝戦	2試合 15:35 ～ 16:25	少年男女	3位決定戦	2試合 15:35 ～ 16:25

表 彰 式	(少年男子および少年女子)	16:35 ～ 16:50
-------	---------------	---------------

第1試合場			第2試合場		
成年女子	1回戦	4試合 17:00 ～ 18:20	成年女子	1回戦	4試合 17:00 ～ 18:20

9月30日（火）

第1試合場			第2試合場		
成年女子	2回戦	2試合 9:05 ～ 9:45	成年女子	2回戦	2試合 9:05 ～ 9:45
成年女子	準決勝戦	1試合 9:45 ～ 10:05	成年女子	準決勝戦	1試合 9:45 ～ 10:05
成年女子	決勝戦	1試合 10:15 ～ 10:35	成年女子	3位決定戦	1試合 10:15 ～ 10:35

表 彰 式	(成年女子および女子総合)	10:45 ～ 11:00
-------	---------------	---------------

第1試合場			第2試合場		
成年男子	1回戦	7試合 11:10 ～ 15:10	成年男子	1回戦	8試合 11:10 ～ 15:10
成年男子	2回戦	6試合 15:10 ～ 18:10	成年男子	2回戦	6試合 15:10 ～ 18:10

競 技 日 程

10月1日（水）

第1試合場			第2試合場		
成年男子	2回戦	2試合 9:05 ～ 10:05	成年男子	2回戦	2試合 9:05 ～ 10:05
成年男子	3回戦	4試合 10:05 ～ 12:05	成年男子	3回戦	4試合 10:05 ～ 12:05
成年男子	4回戦	2試合 12:05 ～ 13:05	成年男子	4回戦	2試合 12:05 ～ 13:05
成年男子	準決勝戦	1試合 13:05 ～ 13:35	成年男子	準決勝戦	1試合 13:05 ～ 13:35
成年男子	決勝戦	1試合 13:45 ～ 14:15	成年男子	3位決定戦	1試合 13:45 ～ 14:15

表 彰 式	(成年男子および男女総合)	14:25 ～ 14:45
-------	---------------	---------------

諸 会 議 日 程

期 日	9月28日（日）
会 議 名	審判会議・監督会議・審判研修会
時 間	16:00 ～ 18:00
会 場	湖南省総合体育館
所 在 地	滋賀県湖南省夏見589
電 話 番 号	0748-71-2325
F A X	0748-72-2000

試合タイムテーブル

第1日 9月29日（月）	時間	第1試合場		第2試合場	
	9:35 ～ 10:00	少年女子1回戦	1	少年女子1回戦	5
	10:00 ～ 10:25		2		6
	10:25 ～ 10:50		3		7
	10:50 ～ 11:15		4		8
	11:15 ～ 11:40	少年女子2回戦	9	少年女子2回戦	11
	11:40 ～ 12:05		10		12
	12:05 ～ 12:30	少年男子1回戦	1	少年男子1回戦	5
	12:30 ～ 12:55		2		6
	12:55 ～ 13:20		3		7
	13:20 ～ 13:45		4		8
	13:45 ～ 14:10	少年男子2回戦	9	少年男子2回戦	11
	14:10 ～ 14:35		10		12
	14:35 ～ 15:00	少年女子準決勝戦	13	少年女子準決勝戦	14
	15:00 ～ 15:25	少年男子準決勝戦	13	少年男子準決勝戦	14
	15:35 ～ 16:00	少年女子決勝戦	16	少年女子3位決定戦	15
	16:00 ～ 16:25	少年男子決勝戦	16	少年男子3位決定戦	15
	16:35 ～ 16:50	表彰式（少年男子及び少年女子）			
	17:00 ～ 17:20	成年女子1回戦	1	成年女子1回戦	5
	17:20 ～ 17:40		2		6
	17:40 ～ 18:00		3		7
	18:00 ～ 18:20		4		8

第2日 9月30日（火）	時間	第1試合場		第2試合場	
	9:05 ～ 9:25	成年女子2回戦	9	成年女子2回戦	11
	9:25 ～ 9:45		10		12
	9:45 ～ 10:05	成年女子準決勝戦	13	成年女子準決勝戦	14
	10:15 ～ 10:35	成年女子決勝戦	16	成年女子3位決定戦	15
	10:45 ～ 11:00	表彰式（成年女子及び女子総合）			
	11:10 ～ 11:40	成年男子1回戦	1	成年男子1回戦	8
	11:40 ～ 12:10		2		9
	12:10 ～ 12:40		3		10
	12:40 ～ 13:10		4		11
	13:10 ～ 13:40		5		12
	13:40 ～ 14:10		6		13
	14:10 ～ 14:40		7		14
	14:40 ～ 15:10				15
	15:10 ～ 15:40	成年男子2回戦	16	成年男子2回戦	24
	15:40 ～ 16:10		17		25
	16:10 ～ 16:40		18		26
	16:40 ～ 17:10		19		27
	17:10 ～ 17:40		20		28
	17:40 ～ 18:10		21		29

第3日 10月1日（水）	時間	第1試合場		第2試合場	
	9:05 ～ 9:35	成年男子2回戦	22	成年男子2回戦	30
	9:35 ～ 10:05		23		31
	10:05 ～ 10:35	成年男子3回戦	32	成年男子3回戦	36
	10:35 ～ 11:05		33		37
	11:05 ～ 11:35		34		38
	11:35 ～ 12:05		35		39
	12:05 ～ 12:35	成年男子4回戦	40	成年男子4回戦	42
	12:35 ～ 13:05		41		43
	13:05 ～ 13:35	成年男子準決勝戦	44	成年男子準決勝戦	45
	13:45 ～ 14:15	成年男子決勝戦	47	成年男子3位決定戦	46
	14:25 ～ 14:45	表彰式（成年男子及び男女総合）			

剣道競技の見方

剣道について基本的な考え方

剣道は長い歴史の中で受け継がれて育てられてきた伝統ある武道である。

剣道の精神は、「武士の日常心がけるべき法」として受け継がれてきたが、今も「己を生かし、人を生かす」ための心身の鍛錬の基本として、現代人の心の中に培われている。

全日本剣道連盟は、剣道の理念を「剣の理法の修錬による人間形成の道である。」と定義し、伝統的武道精神の根源にかかわるものとして表明したが、これは今日の社会情勢の中にあっても強く要請される場所である。

剣道試合の概要

剣道具をつけた二人の試合者が、定められた広さの試合場内で相対して、長さや重さの定められた「竹刀」を用いて、面、小手、胴の各部を打ち、また、突き部（のど部）を突くことによって勝敗を競う競技である。

国スポの出場チームと選手構成

剣道競技は、第52回大会（平成9年大阪）より、成年男子と、それまでの成年2部に代わる成年女子、および少年男子、少年女子の4種別で実施されることになった。

成年男子は、47都道府県全部が出場する。選手編成は、先鋒が18歳以上25歳未満、次鋒が25歳以上35歳未満、中堅が35歳以上45歳未満、副将が45歳以上55歳未満、大將が55歳以上の5名である。

成年女子は、各ブロック予選を勝ち抜いてきた16の都道府県で行われる。先鋒が18歳以上30歳未満、中堅が30歳以上40歳未満、大將が40歳以上の3名である。

少年男子および少年女子は、それぞれ各ブロック予選を勝ち抜いてきた16の都道府県が出場する。選手編成は、男女とも15歳以上18歳までの5名である。

試合場

一辺が9メートルないし11メートルの正方形または長方形とする。

試合時間

国スポでは、成年男子および成年女子は5分間、少年男子および少年女子は4分間とし、この時間内に勝負が決まらなかった場合、引き分けとする。

有効打突

充実した氣勢、適正な姿勢をもって、竹刀の物打を中心とした刃部（打突部）で、面部、小手部、胴部、突部の打突部位を刃筋正しく打突し、残心あるものを有効打突とする。

有効打突の決定

2名以上の審判員が有効打突の表示として旗をあげたとき、または1名が有効打突の表示をし、他の審判員が棄権の表示として両旗を前下で交差させ停止したとき。

試合の勝敗

3本勝負が原則で、試合時間内に2本先取した者が勝ちになる。ただし、一方が1本先取し、そのまま試合時間が終了した場合、この者を勝ちとする。試合時間内に勝敗が決まらなかった場合は引き分けとする。

チームの勝敗は、勝者数が多いチームが勝ちとなり、勝者数が同数の場合は、取得本数が多いチームが勝ちとなる。勝者数、取得本数が同数の場合は、代表者戦（1本勝負）により勝敗を決定する。

禁止行為

次の行為を犯した試合者は負けとなる。

1. 薬物を使用もしくは所持し、または禁止方法を実施すること。
2. 審判員または相手に対し、非礼な言動をすること。
3. 定められた以外の用具（不正用具）を使用する。

次の行為をした場合は反則となる。反則を2回犯すと相手に1本が与えられる。

1. 相手に足を掛けまたは払う。
2. 相手を不当に場外に出す。
3. 試合中に場外に出る。場外は次のとおりである。
 - (1) 片足が、完全に境界線外に出た場合。
 - (2) 倒れたときに、身体の一部が境界線外に出た場合。
 - (3) 境界線外において、身体の一部または竹刀で身体を支えた場合。
4. 自己の竹刀を落とす。
5. 不当な中止要請をする。
6. その他、剣道試合・審判規則に反する次の行為などをする。
 - (1) 相手に手を掛けまたは抱えこむ。
 - (2) 相手の竹刀を握るまたは自分の竹刀の刃部を握る。
 - (3) 相手の竹刀を抱える。
 - (4) 相手の肩に故意に竹刀をかける。
 - (5) 倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつ伏せなどになる。
 - (6) 故意に時間の空費をする。
 - (7) 不当なつば（顰）競り合いおよび打突をする。

剣道の理念

剣道は剣の理法の修錬による人間形成の道である

剣道修錬の心構え

剣道を正しく真剣に学び
心身を錬磨して旺盛なる気力を養い
剣道の特性を通じて礼節をとうとび
信義を重んじ誠を尽して
常に自己の修養に努め
以って国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に
寄与せんとするものである

昭和 50 年 3 月 20 日制定
全日本剣道連盟

剣道指導の心構え

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

剣道は、竹刀による「心気力一致」を目指し、自己を創造していく道である。「竹刀という剣」は、相手に向ける剣であると同時に自分に向けられた剣でもある。この修錬を通じて竹刀と心身の一体化を図ることを指導の要点とする。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

剣道は、勝負の場においても「礼節を尊ぶ」ことを重視する。お互いを敬う心と形（かたち）の礼法指導によって、節度ある生活態度を身につけ、「交剣知愛」の輪を広げていくことを指導の要点とする。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

剣道は、世代を超えて学び合う道である。「技」を通じて「道」を求め、社会の活力を高めながら、豊かな生命観を育み、文化としての剣道を実践していくことを指導の目標とする。

平成 19 年 3 月 14 日制定
全日本剣道連盟